

越谷市住まい・まちづくり支援センター設立に関する勉強会の一環として先進事例の視察を行います。
今回視察する柏の葉アーバンデザインセンターは「公民学の連携」で地域をベースに、市民と行政、企業、大学などが連携してまちづくりを進めており、わが国最初の新しい取組として注目されています。



第3回勉強会（先進事例の視察）

柏の葉アーバンデザインセンター視察

千葉県柏市若柴184-1 柏の葉キャンパス149街区13

平成23年10月20日（木）14:00 現地集合

定員：20名 ※定員に達し次第切めますのでご了承ください。

主催：越谷市住まい・まちづくり支援センター(仮称)設立発起人会

後援：越谷市、越谷市街づくり協議会

交通：つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」東口徒歩1分
(秋葉原駅から約30分)

UDCKとは Urban Design Center Kashiwa-no-ha

2006年11月20日、UDCK: 柏の葉アーバンデザインセンターは、千葉県柏市北部「柏の葉地域」における公民学が連携したまちづくりの拠点として、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅西口前に開設されました。

現在の施設は二代目であり東口前に2010年9月8日にオープンしました。

敷地面積約1,000㎡、建築面積約300㎡(屋内面積約230㎡)で、オープンデッキ、ギャラリー、オフィスという構成は、初代の施設とほぼ同様の規模・内容です。

設立の契機は、2006年4月柏市主催の「大学と地域の連携交流会」において、UDCKの

創設者であり初代センター長の故・北沢猛東京大学教授(当時)が、センターの必要性を提示したことに始まります。

UDCKのオープニング式典には、柏市市長、東京大学総長、千葉大学学長、三井不動産社長他が参加して華々しく行われました。

全国紙や地域新聞などの取材もあり、広くその活動の開始を知らすこととなりました。

つくばエクスプレス沿線の柏・流山地域では、千葉県が中心となって環境・健康・創造・交流を軸とした国際学術研究都市づくりが進められていますが、2007年3月には、UDCKは交流部門のアクションプログラム(実行計画)にも位置づけられています。



3回目は
視察です



支援センター設立に向けて、今年度は下記スケジュールの活動を予定しております。
各回要項は決定したい順次ご案内しますので、ご希望の方は連絡先・メンバー登録をお願いします。

- ①平成23年7月…勉強会「まちづくりセンターを取り巻く課題」東京理科大学・杉崎和久氏
- ②平成23年9月…勉強会「越谷市第4次総合振興計画とその実施課題」越谷市担当職員
- ③平成23年10月…先進事例の視察「柏の葉アーバンデザインセンター」
- ④平成23年11月…勉強会「越谷市における市民事業の可能性と課題」
- ⑤平成24年1月…勉強会「越谷市に適した支援センターの仕組みについて」
- ⑥平成24年3月…設立総会「記念講演 新しい公共を拓くまちづくり」

※参加ご希望の方は、本チラシうら面の参加申込書にご記入の上、FAXするか、メールにてお申込みください。

理念と役割

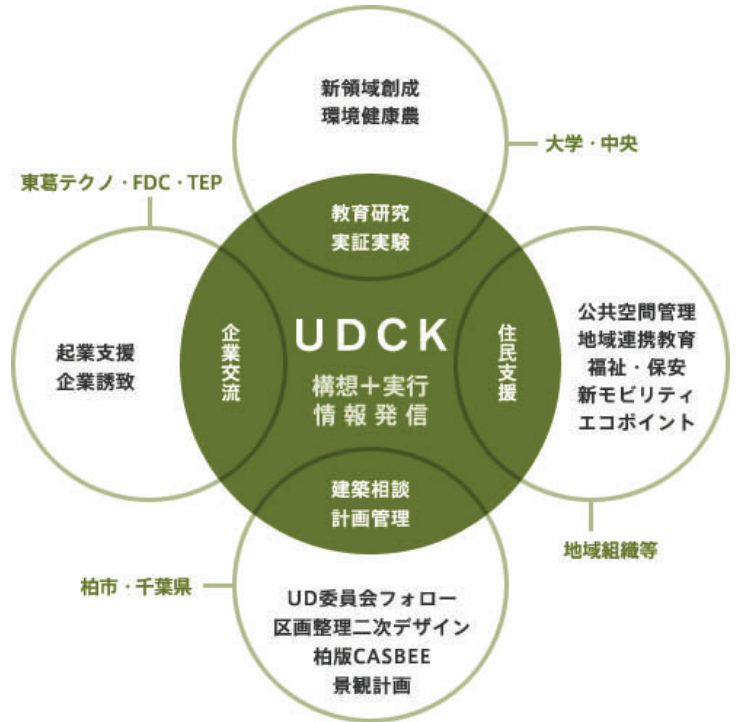
UDCKの基本的な理念は「公民学の連携」です。言い換えれば、地域をベースに、市民と行政、企業、大学などが連携してまちづくりを進めていくための「場所」「環境」をつくるということであり、それがUDCKの設立に込められた大きな目的です。

そのため、UDCKの最も重要な役割は、会議等の場を通じて、既定の業務や研究をつなぐ中間的機能を果たすことにあります。いわば、まちづくりに係わる多様な主体の連携のプラットフォームとしての役割です。

一方で、UDCKは単なる調整の場ではありません。自らが専門性を持ち、構想、計画、推進するシンクタンクとして、柏の葉国際キャンパスタウン構想の推進・実行を担うことも、大きな使命です。

さらに、もうひとつの役割として、様々な印刷媒体や報道発表、フォーラム等を通じて、柏の葉のまちづくりを広く情報発信していくことがあげられます。

すなわち、(1)プラットフォーム、(2)シンクタンク、(3)情報発信という3つがUDCKの大きな役割といえます。



3つの大きな役割

1.プラットフォーム機能

多主体のネットワークを活かした施策の実施体制の構築、連携誘導
関係者間の情報共有、交流促進
インキュベーション、イノベーション

2.シンクタンク機能

構想の立案、施策の検討・提案
空間デザインの提案
まちづくりに関する各種研究

3.情報発信機能

フォーラムやイベントの開催、展示、出版、
プレスリリース等による地域のプロモーション

より具体的に、UDCKの運営に係わる基本方針としては、以下の5点が定められています。(UDCK要綱より)

- (1)自治体、企業、大学、市民団体等(公民学)の連携による人材育成、会議、ワークショップ
- (2)大学や研究機関の提案に基づく新規事業創出の拠点
- (3)大学から市民への知の開示と連携
- (4)柏の葉地区ならびにTX沿線の都市デザイン
- (5)まちづくりの進捗に応じた柔軟な組織運営

この基本方針からもわかるように、UDCKは、市民との連携を大切にしながらも、まちづくり、都市デザインのセンターとして、大学の専門性を軸にした人材育成や新規事業の創出、ハード面の空間デザインという部分に重きを置いています。これが、いわゆる市民活動支援型のまちづくりセンターとは異なる特徴といえるでしょう。

また、UDCKは、それ自体が社会実験です。つまり、地域の多様な主体、あるいは全国のまちづくりに係わるセンターとネットワークしながら、これからのまちづくり拠点のあるべき体制・役割を常に模索していくことも、UDCKのもう一つの重要な役割なのです。

※UDCK資料より抜粋。詳しくは <http://www.udck.jp/>

- 【ご注意】 ● 今回の視察は、事前に申込のない当日参加はできません。定員20名に達し次第、参加申込を×切ります。
● 当日は現地集合です。参加者は時間厳守でお集まりください。

お申込み・お問合せ先／越谷市住まい・まちづくり支援センター(仮称)設立発起人会 代表:若色欣爾 越谷市宮本町2-185-12(株)ガイア住環境技術研究所内
TEL. 048-966-8015 FAX. 048-966-7066 E-mail: wakairo@dream.com

(ふりがな)
お名前

ご所属

ご住所 〒

E-mail:

TEL.

FAX.

同行者がいます。(計 名)

今後もメール等で案内を送って欲しい。

その他通信欄()